



指導者用テキスト

目次

1 プラごみバスターズ大作戦とは

キーワードは「はぐれプラごみ」の調査・撲滅!	3
ローバー・指導者のミッションは「ちょっと盛り」	
「プラごみバスターズ大作戦」教材一覧	4
スカウト進歩・進級とのつながり	

2 教材のねらい(ビーバー・カブ編)

教育目標	5
プログラムを通じて学べること	
目指す姿	

3 教材のねらい(ボーイ・ベンチャー編)

教育目標	6
プログラムを通じて学べること	
目指す姿	

4 実践(ビーバー・カブ編)

はぐれプラごみカードをさがせ!	7
推理ゲーム! プラごみはだれ?	8
はぐれプラごみをつかまえる!	9
じぶんにできることをかんがえよう	10

5 実践(ボーイ・ベンチャー編)

プラごみ対戦! に挑戦	11
「はぐれプラごみ」生息地を予測せよ!	12
「はぐれプラごみ」生息地MAPをつくろう	13
自分にできることを考えよう	14

6 「ピリカ」の使い方

15

1 プラごみバスターズ大作戦とは

キーワードは「はぐれプラごみ」の調査・撲滅!

今、ごみの自然界流出が深刻な問題となっています。世界の海にただようプラスチックごみは、1億5千万トン以上。このままでは、2050年の海は、魚よりもごみの方が多くなってしまおうとも言われています。「プラごみバスターズ大作戦」は、全国1800団の力を集結して、プラごみ問題に挑もう!という試みです。これは、ボーイスカウト日本連盟100周年企画の1つです。毎年9月「スカウトの日」の活動の拡大版として、セブンイレブン記念財団の協賛で実施しています。ミッションは、「はぐれプラごみ」の調査・撲滅活動を通じて、地球を美しく!です。街だけでなく、森や、川などに落ちている「はぐれプラごみ」を減らし、海に流れ込むプラごみをなくすことが目標です。さらに、この活動をみんなに発信することで、人の意識を変え、プラごみ問題を「自分ごと」にできる人を増やします。

[プラごみバスターズ大作戦の流れ]



ローバー・指導者のミッションは「ちょっと盛り」

1回のイベントで終わるのではなく、日々の生活や、スカウトの活動の中に自然に溶け込む活動になることが最終目標です。遊びを通じて「はぐれプラごみ」の課題に興味を持ち、自分ごとにして、小さな行動を起こすスカウトを増やそう!というのが本プログラムの指導者のみなさんのミッションです。

今回用意した教材には、「隊での活動の前後にちょっと楽しめる遊び」や「進歩・進級の中でプロジェクトを企画したりする際のヒント」を盛り込みました。「時間があるからちょっとやってみよう」「キャンプの計画にちょっと足してみよう」といった「ちょっと盛り」を考えてみてください。

「プラごみバスターズ大作戦」教材区分

あそぶ・まなぶ	「はぐれプラごみ」に興味を持つ入り口として、短時間で実施できるゲームやワークです。ルールややり方は工夫次第で自由に変更可能です。
ほかくする	今回はごみを拾うだけでなく、「ピリカ」を活用し、全国の団の社会奉仕活動の成果を自動で集計し、互いに活動の様子を共有して頑張りをたたえ合います。
かんがえる	自分にできることを考えるためのワークシートや読みものを用意しました。

年代ごとの教材一覧

	ビーバー・カブ	ボーイ・ベンチャー	ローバー・指導者
あそぶ・まなぶ	はぐれプラごみカードをさがせ! 推理ゲーム! プラごみはだれ?	プラごみ対戦!に挑戦 「はぐれプラごみ」生息地を予測せよ!	「伝える」を通じて 「はぐれプラごみ」の知識を増やす
ほかくする	はぐれプラごみをつかまえる!	「はぐれプラごみ」 生息地MAPをつくろう	「ピリカ」で活動を発信する
かんがえる	じぶんにできることを かんがえよう	自分にできることを 考えよう	継続的な活動にする

スカウト進歩・進級とのつながり

日々の進歩課題・進級課題はもちろん、「スカウト for SDGs」や、「アーストライブ」のプラスチックチャレンジにも通じる内容になっています。

【ビーバー】

- 木の葉章 けんこう:ルールをまもって、ゲームをする
- 木の葉章 しゃかい:みんなのためになることをする
- 木の葉章 せいかつ:たい、くみ、うちで、しごとをすすんでする

【カブ】

- くま 11暮らしのマナー(自治体のごみの分別方法を知る)
- うさぎ 12役に立つ(自分ができ家の中の仕事を見つける)
- しか 12役に立つ(地域の美化活動に参加する)
- チャレンジ章「手伝い」(1)部屋や庭などの掃除をして整頓をする。
- チャレンジ章「自然保護」(3)次の課題のうち1つに参加するか、または実行する。:①下水溝、川や池の周りのごみを取り除き、きれいにする。
- チャレンジ章「市民」(4)自分の住んでいる地域内での善行に心がけ、1か月間の実行記録をつける

【ボーイ・ベンチャー】

- アーストライブ:プラスチックチャレンジ(汚染が与える影響を知る、影響を軽減する方法を知る)
- アーストライブ:プラスチックチャレンジ(地域の汚染状況を知る、汚染を減らす行動をする)
- アーストライブ:プラスチックチャレンジ(生態系を保護するために汚染を減らす方法を考える・仲間に、ごみを減らすよう促す)
- 初級スカウト章 進級課題:4.善行/集会などで行なう社会奉仕活動へ積極的に参加する
- 2級スカウト章 進級課題:4.奉仕/3回以上実施する
- 1級スカウト章 進級課題:4.奉仕/計画→実施→報告
- 菊スカウト章 進級課題:4.奉仕/団や地域主催へ参加4回以上
- 富士スカウト章 4.奉仕
- (1)地域社会や学校などでの奉仕活動を企画し、隊長の承認を得て実施、報告する。
- (2)地区、県連盟、日本連盟の行事等に奉仕し、その実績を報告する。

2 教材のねらい(ビーバー・カブ編)

教育目標

合言葉は「想像力」。なんでだろう?を考えながら「プラごみバスターズ大作戦」を楽しみましょう!

全体の共通目標	「はぐれプラごみ」の課題に興味を持ち、 自分ごとにして、小さな行動を起こす
---------	--

	キーワード	目標
ビーバー・カブ	想像力 なんでだろう?を考える力	人の行動から「はぐれプラごみ」が 生まれることを知り 自分にできることを考える

プログラムを通じて学べること

ビーバースカウト

「はぐれプラごみ」は「ポイ捨て」だけが原因ではありません。きちんとごみ箱に捨てたのに、カラスなどの動物が荒らしてしまったたり、ごみ箱からあふれてしまったり、突風や大雨に流されてしまったりといった原因もあります。ゲームやごみひろいを通じて、「ポイ捨てをやめよう」だけでなく、「外にごみ箱があるけど捨てないで持ち帰ったほうがいいかな」「風で飛ばないようにしまっておこう」というように大人と一緒に話しながら、できることを増やしていきましょう。

カブスカウト

ビーバーの内容に加えて、ごみの分別のルールを知ること、同じプラスチックでもリサイクルできるものもあれば、燃やしてしまうものもあることに気づきます。「これはリサイクルできるから分けておこう」「燃やすごみになるものはあまり使わないようにしましょう」と考えたり、「自治体によってルールが違うのはなんでだろう?」「なんで汚れたトレーはリサイクルできないんだろう?」と興味を広げていきましょう。

目指す姿

ステップ	みんなで 学び合う	地域の はぐれプラごみを 捕獲する	「ピリカ」で 発信する	自分に できることを 考える	スカウトの 活動や生活の中で 継続する
教材区分	あそぶ・まなぶ	ほかくする		かんがえる	
教材名	●はぐれプラごみカードを さがせ! ●推理ゲーム!プラごみはだ れ?	●はぐれプラごみをつかまえる!		●じぶんのできることをかんがえよう	
ビーバー	はぐれプラごみは「ポイ捨て」 だけじゃないんだな	「はぐれプラごみ」をたくさんみつけた! 「ありがとう」と言われて嬉しい な! またやろう!		「こんなことに気をつける」を考えら れた! 自分で決めたことを守って行動 しよう	
カブ	ごみの種類や自分の街での 捨て方を知ることができた!	ごみの分別をみんなに伝えて、実践 できた! 「ありがとう」と言われて嬉しい な! またやろう!		ふだんの活動やキャンプのときにご みのことを気をつけられるように チームで計画してみよう	

3 教材のねらい(ボーイ・ベンチャー編)

教育目標

合言葉は「創造力」。ためしてみよう!の精神で「プラスチックバスターズ大作戦」を楽しみましょう!

全体の共通目標	「はぐれプラスチック」の課題に興味を持ち、 自分ごとにして、小さな行動を起こす	
	キーワード	目標
ボーイ・ベンチャー	創造力 ためしてみよう!ができる力	身近なプラスチックと 循環の理解を深め、 自分の街の課題を見つける

プログラムを通じて学べること

知ることは守ることの第一歩。プラスチックの種類や特徴、循環の事例を知り、さらに、自分たちの街の「はぐれプラスチック」が生息しやすい場所の予想・調査・撲滅に取り組みます。「ピリカ」で結果を積極的に記録することで、友団の活動結果と比較して、自分たちの街の特徴はもちろん、他の地域の状況を知ること、ごみを減らすための工夫を考えていきます。プラスチックがなぜ私達の生活に欠かせないのか、「はぐれプラスチック」がなぜ問題なのか、「なんとなくよくない」ではなく、活動を通して見つけた具体的な問題に対して「**をためしてみよう!」と考えられるようになっていくことが目標です。

目指す姿

ステップ	みんなで 学び合う	地域の はぐれプラスチックを 捕獲する	「ピリカ」で 発信する	自分に できることを 考える	スカウトの 活動や生活の中で 継続する
教材区分	あそぶ・まなぶ	ほかくする		かんがえる	
教材名	●プラスチック対戦!に挑戦 ●「はぐれプラスチック」生息地 を予測せよ!	●「はぐれプラスチック」生息地MAPをつ くろう		●課題を見つけ、解決方法を考えよう	
ボーイ	プラスチックは生活に欠か せないけれど、使い方やごみ の出し方はもっと考えられ そうだ	多様な種類の「はぐれプラスチック」を発 見した!生息地に名前をつけながら、 発生理由を想像できた		「はぐれプラスチック」が発生しない工夫 を考え、キャンプのときにも「プラ スチックバスターズ」の活動を取り組んで みよう	
ベンチャー	地域の地形や産業、人のくら しから、はぐれプラスチックが発 生しやすい場所を予想して みよう	多様な種類の「はぐれプラスチック」を発 見した!自分の活動を知ってもらうの は面白い。もっと発信しよう!		生息地を1つでも減らすための行動を 考えてみよう。課題を設定し、「はぐれ プラスチック」を減らすプロジェクトを企 画してみよう	

4 実践(ビーバー・カブ編)

はぐれプラごみカードをさがせ!

ステップ	みんなで学び合う
教材区分	あそぶ・まなぶ
対象	ビーバー・カブ
所要時間	20分～
実施場所	室内・野外いずれでも可
必要教材	●はぐれプラごみカード ●はぐれプラごみカードをさがせ! 指令書
関連	木の葉章 けんこう:ルールをまもって、ゲームをする
活用方法	●「スカウトの日」の事前学習として ●キャンプ等のイベントでのレクリエーションとして
目標	「はぐれプラごみ」がどうしてうまれたのか?をかんがえ、 どんな場所にあるのかを想像できるようになる

【やりかた】

- ① 「プラごみバズターズ大作戦」のWebページにある指令書や動画を見ましょう
- ② 隊長から「もくひょう」と「やりかた」を聞きましょう
- ③ 「かくすひと(大人)」と「さがすひと(スカウト)」を決めましょう
- ④ どんなカードがあるか、まずはみんなで見てみましょう
- ⑤ カードをかくす(制限時間:5分)
「かくすひと」は内容に合わせてカードを隠します
「さがすひと」は目を閉じて待ちます
- ⑥ カードをさがす(制限時間:5分)
「さがすひと」はなるべくたくさんカードをみつけます
- ⑦ 見つけたカードが多い人が「勝ち」です
- ⑧ 見つけたカードは持ち帰りおうちの人とも読んでみましょう

【工夫ポイント・注意点】

- カードが風に飛ばされてごみにならないよう、厚紙に印刷するなどの工夫をお願いします
- カードの色によって、はぐれプラごみになった経緯が異なります
 - 青:きちんと捨てたのに、風などで転がってしまったプラごみ
 - 赤:人が意図して捨てたり隠したりしたプラごみ
 - 黄:無意識のうちに忘れてしまったプラごみ
- カブスカウト向けに実施する場合はカードに書かれた「とくちょう」を読んで隠し方を工夫してみると学びが深まります(例:「ひらりマスク」はわかりやすいところに落ちていそうだね。「タバコのむれ」はすみっこの方かな。)
- さがしている間に本物のごみを見つけたら「**点!」などのルール設定や自作カードの作成など自由に変更可能です

【使用する教材】

はぐれプラごみカード



※人数に合わせて、印刷するカードの枚数を調整してください

指令書



印刷し、
点線に沿って
カットして
活用ください

Webページから
ダウンロード
できます

推理ゲーム! プラごみはだれ?

ステップ	みんなで学び合う
教材区分	あそぶ・まなぶ
対象	カブ
所要時間	20分～
実施場所	室内・野外いずれでも可
必要教材	●紙・ペン ●各自治体のごみ分別表 ●推理ゲーム! プラごみはだれ? 指令書
関連	●くま 11暮らしのマナー(自治体のごみの分別方法を知る) ●うさぎ 12役に立つ(自分ができる家の中の仕事を見つける)
活用方法	●「スカウトの日」の事前学習として ●キャンプ等のイベントでのレクリエーションとして
目標	自分たちが出すごみや、拾ったごみが、何ごみに分類されるのか、判断できるようになる

【やりかた】

- ① 「プラごみバスターズ大作戦」のWebページにある指令書や動画を見ましょう
- ② 隊長から「もくひょう」と「やりかた」を聞きましょう
- ③ 「ごみ出し役」と「ごみ回収役」を決めましょう
- ④ ごみ出し準備
「ごみ出し役」はごみの分別表や指令書の「ちょっとむずかしいごみのヒント」から1人1つごみを選び、紙に書きます
(例: 1Lペットボトル、食品トレー など)
「ごみ回収役」は地域のごみの分類名を予習しておきます
(例: もやすごみ、もやさないごみ、資源ごみ、などの分類を知っておく)
- ⑤ ごみ出し
「ごみ出し役」は1列に並んで順番に紙を見せます
「ごみ回収役」はそのごみは何ごみで回収されるかを推理します
※1つのごみにつき、制限時間は30秒、答えられるのは1回です
※どのごみから回答するかは「ごみ回収役」がえらべます
※まちがえたら終わり。全てのごみを分べつできたら「ごみ回収役」の勝ちです!
- ⑥ 時間があったら「ごみ回収役」と「ごみ出し役」を交代してやってみましょう

【使用する教材】

指令書



Webページからダウンロードできます

【工夫ポイント・注意点】

- 「ごみ回収役」「ごみ出し役」を交代する場合、2回戦目は違う自治体のごみ分別表を使うとゲーム性が高まります
- 「ごみ出し役」を隊長やデンリーダーにし、スカウトが「ごみ回収役」として分別を考えるというやり方もおすすめです
- 出題するごみはプラスチック以外でも良いですが、プラスチックにのみ限定して、どんなプラスチックが身近にあるかを一緒に考えてみるのもおすすめです
- 分別方法の答えがわからないときは自治体に問い合わせるなどの体験を取り入れてみるのも良いと思います
- ごみ分別の方法を学び、ごみ拾いの奉仕活動を実施する際に、カブスカウトが分別方法を仲間に伝える役になれるといいですね

はぐれプラごみをつかまえる!

ステップ	地域のはぐれプラごみを捕獲する/「ピリカ」で発信する
教材区分	ほかくする
対象	ビーバー・カブ
所要時間	30分～
実施場所	野外
必要教材	●ごみ袋 ●トング・軍手等の安全な服装と装備 ●「ピリカ」をインストールした端末(保護者・指導者のみ) ●はぐれプラごみをつかまえる! 指令書
関連	●木の葉章 シャカイ:みんなのためになることをする。 ●木の葉章 せいかつ:たい、くみ、うちで、しごとをすすんでする。 ●しか 12役に立つ(地域の美化活動に参加する) ●チャレンジ章「自然保護」(3)次の課題のうち1つに参加するか、または実行する。 ①下水溝、川や池の周りのごみを取り除き、きれいにする。 ●チャレンジ章「市民」(4)自分の住んでいる地域内での善行に心がけ、1か月間の実行記録をつける
活用方法	●「スカウトの日」の活動時 ●ボーイスカウトの活動でごみ拾いをする時
目標	●おちているごみをたくさん拾って、まちをきれいにしましょう ●どんなごみが多いのか、考えましょう

【やりかた】

- ① チームにわかれましょう(ビーバーは親子ペアを1チームとして実施)
- ② チームの中で、分別ごとのごみぶくろも持ちましょう(「プラスチックごみ」「燃やすごみ」「燃やさないごみ」「ペットボトル」等。)
- ③ 分別をしながら、ごみを拾います
- ④ 終了時間になったら、それぞれのごみを何袋あつめられたかを報告しましょう。一番多く、ごみでいっぱい袋を作ったチームの勝ちです
- ⑤ 最後に、自分たちがごみ拾いした場所は、どんな場所だったか、どんなごみが多かったかを振り返りながら、「ピリカ」を使って記録しましょう

【使用する教材】

指令書



ビーバー用と
カブ用が
あります

【工夫ポイント・注意点】

- 「ピリカ」の投稿は保護者または指導者が行うようにしてください。歩きながらの投稿はやめましょう
- 「ピリカ」で投稿する写真は、ごみが鮮明にわかるように撮影し、参加者や通行人、個人が特定できるような風景が映り込まないように注意しましょう
- 「ピリカ」コメント欄についている#(ハッシュタグ)はボーイ・ベンチャー用教材に活用方法を記載しています。使用しない場合はお手数ですが削除して投稿してください
- 「前日が雨だったからかさ袋がよく落ちているのかな」「この発泡スチロールの破片はどこから飛んできたんだろう?」など、落ちているごみの発生理由を想像しながらひろってみましょう
- 「プラスチックごみ」だけあつめるごみ袋を用意できると、プラごみマスターズとして「プラスチックごみ」に注目することができます。ぜひ実践ください
- ごみ拾いに夢中になってケガや事故などないよう、活動開始前に危険な場所や行動をみんなで確認しましょう
- 感染症対策として、マスク(※熱中症に注意)や手袋を着用し、なるべくトングを使用してごみ拾いを行いましょう。また、ごみはビニール袋に入れて密閉して縛り、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗いましょう

じぶんにできることをかんがえよう

ステップ	自分にできることを考える／スカウトの活動や生活の中で継続する
教材区分	かんがえる
対象	ビーバー・カブ
所要時間	10分～
実施場所	室内・野外いずれでも可
必要教材	●「ピリカ」をインストールした端末(保護者・指導者のみ) ●筆記用具 ●「じぶんにできることをかんがえよう」指令書
関連	●木の葉章 しゃかい:みんなのためになることをする ●木の葉章 せいかつ:たい、くみ、うちで、しごとをすすんでする ●うさぎ 12役に立つ(自分ができ家の中の仕事を見つける)
活用方法	●「スカウトの日」の事後学習として
目標	自分にできることを1つ以上考えて、おうちの人や周りに宣言してみましよう

【やりかた】

「じぶんにできることをかんがえよう」指令書内にある、ワークシートにそって考えてみましよう

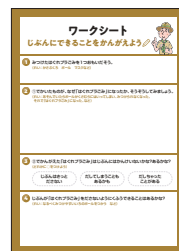
- ① 見つけたはぐれプラごみを1つ思い出そう
- ② そのごみが、はぐれプラごみになった理由を考えてみましよう
- ③ ②で考えた「はぐれプラごみ」は自分にも関係があるか考えてみましよう
- ④ 自分が、「はぐれプラごみ」を出さないようにする方法を考えて書きましよう

【使用する教材】

指令書



ワークシート



5 実践(ボーイ・ベンチャー編)

プラごみ対戦! に挑戦

ステップ	みんなで学び合う
教材区分	あそぶ・まなぶ
対象	ボーイ
所要時間	20分～
実施場所	室内・野外いずれでも可
必要教材	●プラごみの写真(ごみ全体の写真と表示マークが見える写真の両方を用意) ●視点設定カード ●点数計算表 ●筆記用具 ●「プラごみ対戦! に挑戦」の指令書
関連	●アースライブ:プラスチックチャレンジ (汚染が与える影響を知る、影響を軽減する方法を知る)
活用方法	●「スカウトの日」の事前学習として ●キャンプ等のイベントでのレクリエーションとして
目標	身の回りのプラスチックをさがして点数をつけ、対戦ゲームを行います。 あなたの見つけてきた「ごみ」は相手に勝てるかな? プラスチックについて知り、いろいろな立場からプラスチックの使い方、捨て方について考えてみましょう。

【やりかた】

- ① 自分がプラごみだと思ふものの写真を撮ってこよう(1人5枚程度)
- ② 二人一組になり対戦相手を決める
- ③ 対戦前に「視点設定カード」を引いて、「地球の生物」「人間」どちらの視点で対戦するかを決定
※同じプラごみでも誰の視点かによって獲得できるポイントが違います
- ④ 「点数計算表」を見ながら自分の撮影してきたプラごみの点数を計算します
- ⑤ 「せーの」で1枚写真を選び、見せ合います。④で計算した得点が高かった方の勝ちです
- ⑥ ごみの写真がなくなった人がいたら終了。「勝ち」が多かった方の勝利です
- ⑦ 「視点設定」を変えて対戦してみましょう

【工夫ポイント・注意点】

- 点数表について
 - 「地球の生き物」はリサイクル性、「人間」は利便性に注目した点数になっています
 - プラマークのみで素材の表記がない場合は素材に関する得点は入りません
 - 例えばふたとボトルそれぞれについて素材表記があるごみの場合、分離してそれぞれ点数計算するか、分離できない場合は複合素材として扱います
 - ボーナスポイントについて、複合素材の場合は主たる素材(アンダーパー付き)の方を得点対象にします
- 写真ではなく、実物を持ち寄っての対戦も可能です
- 多様な視点から点数付けが可能です。「視点設定」や「点数計算表」を考え、ぜひオリジナルのプラごみ対戦をつくってみてください

【写真のとり方と表示のさがし方】

写真のとり方



プラマークと
素材表示と、
全体像がわかるように
撮影しましょう

表示のさがし方



「はぐれプラごみ」生息地を予測せよ!

ステップ	みんなで学び合う
教材区分	あそぶ・まなぶ
対象	ベンチャー
所要時間	20分～
実施場所	室内・野外いずれでも可
必要教材	●「ピリカ」をインストールした端末 ●地域の地図 ●筆記用具 ●「はぐれプラごみ」の生息地を予測せよ! 指令書
関連	●アースライブ:プラスチックチャレンジ (汚染が与える影響を知る、影響を軽減する方法を知る)
活用方法	●「スカウトの日」の事前学習として ●キャンプ等のイベントでのレクリエーションとして
目標	「ピリカ」を使って、地域の地形や産業、住んでいる人たちのくらしから、はぐれプラごみが発生しやすい場所を考えてみよう

【やりかた】

①生息地を予想しよう

ピリカの過去の投稿から考えてみよう

(1)自分たちの地域の投稿を見ながら考えてみよう



- よくごみが発見されているところはどこ?
- あまりごみ拾いされていない場所はどこ?

(2)他の地域の投稿を見ながら考えてみよう



- よくごみが発見されているのはどんな場所?
- 自分たちの地域にも似た場所はある?

(3)ボーイスカウトが蓄積した投稿履歴から考える

(ボーイスカウトの投稿が増えてきたらやってみよう)



- よくハッシュタグで投稿されているごみの種類は何? それはどこに多い?
- みんなはどんな場所で活動している?

調査のデータから考えてみよう

指令書に掲載した「ICC2018の品目別総合結果」など、他の調査のデータを見て、よく落ちているごみの種類から考えてみよう



そのごみは、自分たちの街のどんな場所に出るだろう?

施設や河原、空き地、公園など、場所や人のくらしを想像しながら、「はぐれプラごみ」が現れやすい場所を予想してみよう

②ごみ拾い計画を立てよう

生息地予測をもとに目標を立て、ごみ拾いの場所をきめよう

「はぐれプラごみ」生息地MAPをつくろう

ステップ	地域のはぐれプラごみを捕獲する/「ピリカ」で発信する
教材区分	ほかくする
対象	ボーイ・ベンチャー
所要時間	30分～
実施場所	野外
必要教材	●ごみ袋 ●トング・軍手等の安全な服装と装備 ●「ピリカ」をインストールした端末 ●「はぐれプラごみ」生息地MAPをつくろう」指令書
関連	●アースライブ:プラスチックチャレンジ(地域の汚染状況を知る、汚染を減らす行動をする) ●初級スカウト章 進級課目:4.善行/集会などで行なう社会奉仕活動へ積極的に参加する ●2級スカウト章 進級課目:4.奉仕/3回以上実施する ●1級スカウト章 進級課目:4.奉仕/計画→実施→報告 ●菊スカウト章 進級課目:4.奉仕/団や地域主催へ参加4回以上 ●富士スカウト章 4.奉仕
活用方法	●「スカウトの日」の活動時 ●ボーイスカウトの活動でごみ拾いをする時
目標	「はぐれプラごみ」を見つけたら、そこにあったごみの特徴に合わせて名前をつけ、ハッシュタグを付けて、「ピリカ」で全国の友団と情報共有しましょう。 ごみが見つかった場所や量、ごみの種類が「ピリカ」に蓄積されていきます。

【やりかた】

① 分担を決める

清掃エリアの分担をしましょう。プラスチック、ペットボトル、燃やすごみ、燃やさないごみで分別できるようごみ袋を用意すると、プラスチックごみの量を実感しやすくなります

② 制限時間を決めてごみを拾い、発見場所の様子を撮影

ごみの発見場所の様子を撮影してから清掃します。特に多かったごみや特徴的なごみを後で思い出せるように撮影しておきましょう。撮影した場所がどこか、地図等にメモしておきましょう(「ピリカ」の投稿は後からでも行えます)

③ 撮影した写真を見せ合いながら生息地に名前をつける

清掃終了後、特に多かったごみ、特徴的なごみがわかるような「生息地の名前」をつけてみましょう。観光地に名前をつけるようなイメージで自由な発想でつけてください。つけた名前は「ピリカ」投稿時に「コメント欄」に記載します

例:タバコの吸殻がたくさんあった→「はぐれ吸殻密集地」
ごみ袋が破れてごみが散乱していた→「カラス襲撃ごみ大量発生地」

④ 「生息地の名前」とハッシュタグをつけて「ピリカ」に投稿

指令書に記載された「ハッシュタグ一覧」を見ながら、投稿につけるハッシュタグを決めます(複数選択可能です)。写真と「生息地の名前」「ハッシュタグ」をコメント欄に記載して「ピリカ」で投稿します

「ピリカ」内にある「プラごみバスターズ大作戦」のイベントに「参加」すると、ハッシュタグ一覧が自動でコメント欄に入ります。不要なハッシュタグは消してください

⑤ 予測と実測がどのように違ったか、話し合う

事前に生息地予測をした場合は、当初予測していた「はぐれプラごみ」の生息地と一致していたかを確認しましょう。予想外の場所が見つかった場合は、なぜそこにごみが多いのか話し合い、地域の中で行える活動や対策を検討してみましょう

【工夫ポイント・注意点】

- スカウトは「ピリカ」使用前にネットリテラシーの学習をしてから使うようにしてください
- 歩きながらの投稿はやめましょう
- 「ピリカ」で投稿する写真は、ごみが鮮明にわかるように撮影し、参加者や通行人、個人が特定できるような風景が映り込まないように注意しましょう
- プラごみバスターズ大作戦のWebページから、県ごとに拾われたごみの量や種類が見られるようになっています

自分にできることを考えよう

ステップ	自分にできることを考える/スカウトの活動や生活の中で継続する
教材区分	かんがえる
対象	ボーイ・ベンチャー
所要時間	10分～
実施場所	室内・野外いずれでも可
必要教材	●「ピリカ」をインストールした端末 ●地域の地図 ●筆記用具 ●「自分にできることを考えよう」指令書
関連	●アースライブ:プラスチックチャレンジ (生態系を保護するために汚染を減らす方法を考える・仲間に、ごみを減らすよう促す) ●初級スカウト章 進級課目:4.善行/集会などで行なう社会奉仕活動へ積極的に参加する ●2級スカウト章 進級課目:4.奉仕/3回以上実施する ●1級スカウト章 進級課目:4.奉仕/計画→実施→報告 ●菊スカウト章 進級課目:4.奉仕/団や地域主催へ参加4回以上 ●富士スカウト章 4.奉仕
活用方法	●「スカウトの日」の事後学習として ●進歩過程で自身が企画するプロジェクトのテーマ探しとして
目標	キャンプや他の活動のときにも「プラごみバスターズ」の活動を取り込めないか考えてみよう さらに自分で課題を設定し、「はぐれプラごみ」をへらすプロジェクトを企画してみよう

【やりかた】

①課題を見つけよう

(1)「ピリカ」の投稿から考えてみよう

他の地域の投稿も見ながら考えてみよう。場所だけでなく、ごみの総量やハッシュタグごとのごみの量を確認することもできます



- 自分たちの街にはどんなはぐれごみが多かったらう？
- 他の地域と比べて気づくことはある？
- そのごみが出た理由は？
- それはよく起こること？
時期や場所限定？

(2)自分たちの目で見たことから考えてみよう

どんな場所にどんなごみがあったか、それはどうしてでたのかを話し合ってみよう



- 特にごみが多かったのはどこだろう？
- 特に印象に残ったごみは何だった？
- そのごみが出た理由は？
- それはよく起こること？
時期や場所限定？

②課題を解決するために、自分たちにできることを考えよう

(1)まず自分でやってみよう、と思えることを考えよう



- 人の行動を変えるより、自分の行動ややり方を変えたりするものだとやりやすいです
- 続けられることを考えるのも大事です

(2)仲間を集めたらできそう、と思えることを考えよう



- 一人ではできないけど、やってみたいことを考えてみよう
- ボーイスカウトの活動や、自分の知り合いなど、自分たちが持っているものを活用したアイデアから始めてみよう
- 指令書の「ヒント」を読みながら、似たようなことをやっている人の活動をヒントにしてみよう

6 「ピリカ」の使い方

「ピリカ」とは

ごみ拾いの記録を投稿すると、コメントや“ありがとう”の気持ちが届き、互いに励まし合いながらごみ拾いを楽しめるアプリケーションです。これまでに世界113か国で利用され、累計2億個以上のごみが「ピリカ」を使って回収されています。

このシステムの中に、「プラごみバスターズ大作戦」特設ページが設置され、全国のボーイスカウトが拾ったごみの数が自動で集計され、互いに頑張りをたたえ合うことができます。



自動で集計されるごみの総数などのイメージ



タイムラインの様子



投稿に届く「ありがとう」とメッセージのイメージ

【特設ページのイメージ】

- ボーイスカウト全体で拾ったごみの数と参加人数がリアルタイムで集計されます
- 都道府県ごとにマップが色分けされ、「都道府県ごとのごみの数」「都道府県ごとのタイムライン」が表示されます

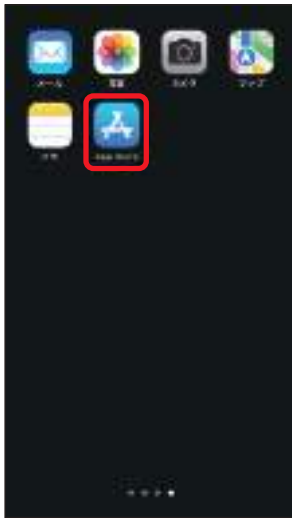


「ピリカ」の使い方

1. 「ピリカ」をダウンロードする

スマートフォンのアプリ検索で「ピリカ」を探し、アプリをダウンロードします。

【iPhone】



画面にあるApp Storeを起動し、「ピリカ」と検索。



ピリカのアプリを見つけたら、「入手」をタップ。
※アプリの利用は無料です。



画面にピリカのアプリが追加されるので、タップして起動。

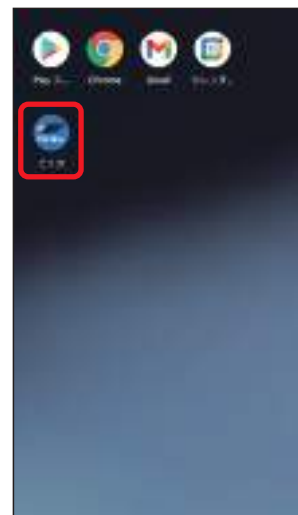
【Android】



画面にあるGoogle Play Storeを起動し、「ピリカ」と検索。



ピリカのアプリを見つけたら、「インストール」をタップ。
※アプリの利用は無料です。



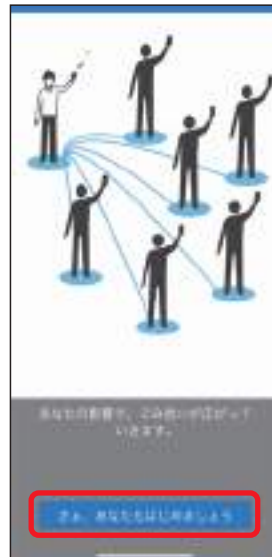
画面にピリカのアプリが追加されるので、タップして起動。

2. アカウントを作成し、ログインする

ダウンロードが完了したら、アカウントを作成し、ログインします。



サービス利用規約を読み“同意する”をタップ。



説明文を左にスワイプし、“さあ、あなたもはじめましょう”をタップ。



「メールアドレスではじめる」を選択。
(FacebookやTwitter等でサインインするとアカウント名が変更できません)



メールが届くので、メール本文に記載された6桁の認証コードを空欄に入力し“ログイン”をタップ。



個人特定ができないよう、ニックネームで登録しましょう


“ユーザー名”を入力し“ユーザータイプ”は「個人」を選択。その後、パスワードを入力し、“設定する”をタップ。

3. グループ登録をする

1,800団すべてについて事前にグループ作成が完了しています。新たにグループを作成する必要はありません。以下の手順で所属団体のグループを検索し、グループに参加してください。

<p>① グループ検索サイトにアクセスします</p> <p>https://lne.st/eovr</p> 	<p>② キーワードを入れて「検索」を押します</p> <p>「大津第〇団」、または「大津」などの地区名を記載してください。「第」を入れ忘れたり、全角数字や漢数字にすると見つかりません</p> 
<p>③ ご自身の所属団体のリンク先をタップします</p> <p>ご自身以外でも、表示されたQRコードをスマートフォンで読み込めば、どなたでもグループ登録ができます</p> 	<p>④ グループをフォロー</p> <p>「ピリカ」アプリが起動しますので、グループが出てきたら「グループをフォロー」をタップします</p> 

4. ごみを拾ったら投稿する

トングマーク  をタップすると投稿できます。写真を撮影・または撮影済の画像を選択すると拾った日時・場所・ごみの数・活動した人数を記入するページが開きます。記入して「投稿する」ボタンを押すと投稿完了です。数や人数等のデータが自動でカウントされます。

5. お知り合いの団や他のユーザーに感謝を届けよう

活動を投稿すると、他のユーザーから「ありがとう」や「コメント」が届きます。他のユーザーの清掃活動にも「ありがとう」や「コメント」を贈り、お互いに感謝しあうことで活動を楽しみましょう。

6. 「プラごみバスターズ大作戦」のイベントに参加する

ボーイ・ベンチャー向けの「はぐれプラごみ生息地MAPをつくろう!」を実施される方は以下の手順でイベントに参加してください。ハッシュタグ一覧が自動でコメント欄に入らなくなり、投稿の際に便利です。(全てのハッシュタグが入りますので、不要なハッシュタグを削除して投稿してください)

① 「ピリカ」アプリを起動し、「イベント」から「プラごみバスターズ大作戦」を探します



② 「参加」をタップします



【工夫ポイント・注意点】

- アプリの利用は無料です
- 拾うたびに投稿しても良いですし、活動後にまとめて時間と量を入れての投稿も可能です
- スカウトの活動時間外でも利用可能です。継続的なごみ拾い活動につながるしかけとして活用ください
- ビーバースカウト・カブスカウトは保護者または指導者の端末を使用した運用を想定しています
- ボーイスカウト・ベンチャースカウト・ローバースカウトはネットリテラシーの学習をした後、各団の状況に合わせて使用してください
- 歩きながらの投稿はやめましょう
- ボーイ・ベンチャースカウト向けの教材に記載されているごみの種類ごとのハッシュタグをピリカのコメント欄につけて登録すると(例: #ボトルバスター)、ごみの種類別のデータも見られるようになります
- 「ピリカ」で投稿する写真は、ごみが鮮明にわかるように撮影し、参加者や通行人、個人が特定できるような風景が写り込まないように注意しましょう

よくあるQ&A

Q: 1アカウントを複数名で利用できますか?
A: 利用できます

Q: 投稿の編集は可能ですか?
A: Web版からのみ編集ができます

Q: 「プラごみバスターズ大作戦」特設ページは誰でも見ることができますか?
A: 「ピリカ」を使っている人は誰でも見ることができるページです

Q: グループは複数参加できますか?
A: はい。ワンクリックで入会、退会をすることができます

[主催]



[協賛]



[協力]



プラごみバスターズ大作戦は、地域社会の環境保全活動として、ボイスカウト日本連盟が取り組んでいます。
活動資材の作製・配布は、セブン-イレブン記念財団の協賛金により行っております。